

名市大病院広報

CONTENTS

病院長よりご挨拶

新外来診療棟開院特集

- ・小児科及びブレイルームのデザインについて
- ・外来化学療法室のご紹介
- ・患者情報ライブラリーってどんなところ？
- ・人工観葉植物のヒミツ
- ・「サウンドセル」を用いたグランドピアノの自動演奏
- ・アトリウムに立っているポールの役割は？

MAY 2007
vol. 1
創刊号

広報誌のネーミング大募集!!

お知らせ

- ・新外来診療棟完成記念式典が開催されました。
- ・喫茶コーナー、コンビニができました!!
- ・敷地内全面禁煙のお知らせ

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

患者さんの権利等

【患者さんの権利】

- 1 良質の医療を受ける権利
- 2 情報を知る権利
- 3 選択の自由の権利
- 4 自己決定の権利
- 5 機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。
 患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分でわかりやすい説明をうけることができます。
 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求める 것도できます。
 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。
 患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報は厳正に保護されます。

【患者さんへのお願い】

- 1 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- 2 ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 3 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 4 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 5 大学病院として医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。



Message

病院長よりご挨拶

が完成致しました。
新しく外来診療棟では外来化学療法室を設置し、がん患者さんのQO（生活の質）の向上に努めてまことに。また、患者さんのアメニティーを重視して診察室の個室化を進めるとともに患者さんに診察状況をお知りせしむる最新型の表示板も導入いたしました。さらに、明るい開放感のある空間として、光触媒を施した樹木と街路灯に因

が、「医療のため臨床技術(Competent Clinical Service)」と「心の籠った暖か
い医療(Heart Warming Care)」を提供
していく所。
近頃は、心臓手術のため、病院に連れて
来られる子供たちの問題ばかりで忙
結構だ。うちでも心臓疾患の子供の
相談が多い。親戚にはうつ病の
心配で相談していることが多い。

名古屋市立大学病院は、安全と度先進医療を提供する「患者さん」にやさしい病院」を目指すに、病棟・中央診療棟に引き続き外来診療棟の整備を進めてまいりましたが、このたび私たちの夢と期待の集大成として、入院と外来が一体化した最高級の機能を持つ21世紀をリードする大学病院

A portrait of Dr. John R. Hockenberry, a middle-aged man with short, light-colored hair, wearing a white medical or lab coat over a dark shirt. He is seated at a desk, smiling at the camera. The background shows an office environment with a computer monitor and some papers.

病院長 百薦 創

まれた心理的なアートワークを設置す
るとともに、ピアノ演奏のサイドにはス
ターバックス喫茶「ナー」を設けた
じ患者さんがくつわびの病院としたし
ました。」その他、患者情報ハイブリッ
の設置や売店の「ンギ」化などよつ
層の患者カードへの回上に努めました
もに、すでに稼動してこの病棟・中央診
療棟と一体化した効率的で利便性の
高いこれまでにない大学病院としての
誇りをもつて医療を提供致します。

Special Feature Article

新外来診療棟開院特集

平成19年5月7日(月)新外来診療棟が開院しました。新外来診療棟には様々な施設や設備などが新しく導入されましたので、今回はその一部を紹介いたします。



小児科及びプレイルームの デザインについて

外来化学療法室の「紹介

外来化学療法室は、外来で行なう抗がん剤を中心とした化学療法を患者さんにとつてゆつたりとした環境で実施できる部屋として、近年他の病院でも開設が進んでいる施設です。

当院の外来化学療法室は新外来診療棟1階の中央に位置し、9つのリクライニングチェア、2つのベッドを備えています。各チエア、ベッドではテレビ、DVDの視聴ができ、長時間の点滴治療の間も患者さんが退屈することなく時間を過ごすことができるよう配慮しています。

新外来診療棟玄関を入りますと4階まで吹き抜けの明るいアトリウムが広がっています。

アトリウムは新外来診療棟と病棟・中央診療棟をつなぐメインストリートであり多くの患者さんや病院スタッフが集まる広場となっています。通路のセンターインには、街路灯をイメージした照明灯が立ち、両サイドに光触媒処理をした人工の観葉植物を並べました。このように緑の樹木を配置することで、少しでも落ち着いた雰囲気を感じられるようになります。

光触媒は、シックハウス対策として注目されているように、空気中の有害物質を分解し、消臭・殺菌作用等があることがわかつています。外来診療棟に配置した観葉植物は葉の表面や鉢にアパタイト皮膜二酸化チタンを塗布し、光触媒処理してあ



人工観葉植物のミニシ

新外来診療棟玄関を入りますと4階まで吹き抜けの明るいアトリウムが広がっています。

アトリウムは新外来診療棟と病棟・中央診療棟をつなぐメインストリートであり多くの患者さんや病院スタッフが集まる広場となっています。通路のセンターインには、街路灯をイメージした照明灯が立ち、両サイドに光触媒処理をした人工の観葉植物を並べました。このように緑の樹木を配置することで、少しでも落ち着いた雰囲気を感じられるようになります。

光触媒は、シックハウス対策として注目されているように、空気中の有害物質を分解し、消臭・殺菌作用等があることがわかつています。外来診療棟に配置した観葉植物は葉の表面や鉢にアパタイト皮膜二酸化チタンを塗布し、光触媒処理してあ

当院では新外来診療棟の開設にあわせて、病棟・中央診療棟の地下1階に「患者情報ライブラリー」を開設します。患者さんが自分の病気を詳しく知りたい、今日受け取った薬を調べたい、診察のときに聞いた言葉の意味を知りたいなどと思つた時には、インターネットや専門書で調べることができます。インターネットや専門書で調べることができたり、職員が調べるお手伝いをいたします。開設後も、皆様のご意見などを参考に、充実させていきたいと考えております。

患者情報ライブラリー どんなところ?

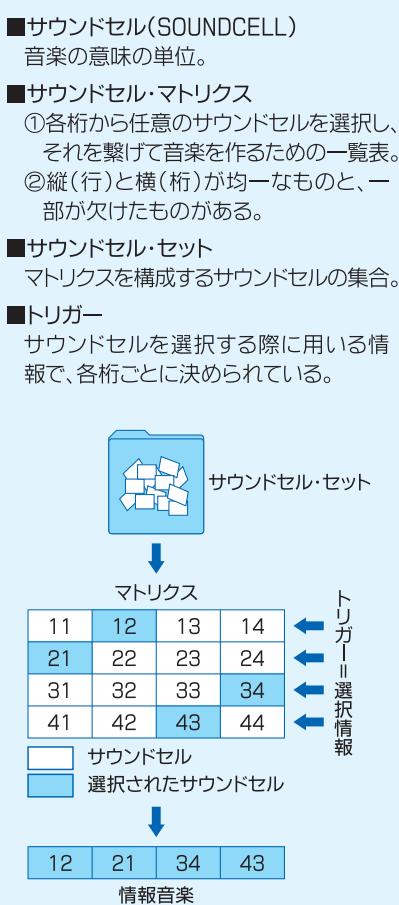
「サウンドセル」を用いた グランドピアノの自動演奏

「サウンドセル」とは、劇中音楽や「みんなのうた」等で著名な作曲家、佐野芳彦氏によりて考案されたコンピュータを用いた楽曲創作システムです。患者の数など日々変化するトリガーと作曲家が予め作ったサウンドの単位を組み合わせ、再現性のない新しいスタイルの音楽を作り出すもので、一期一會の音楽ともいわれます。今回、新外来診療棟のピアノにこの仕組みを

アトリウムには、高さ約4メートルのポールが一列に並んで立っていますが、中には酸素などの医療用ガス設備や、停電時にも使用可能な電源コンセントなどが配備されており、万が一、地震などの広域災害が発生したときにも、対応することができます。



アトリウムに立っているポールの役割は?



世界、日本で初めて取り入れて、時報を鳴らすところのものです。

